

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区に限り避難指示が解除されました。大川原地区には新しく役場庁舎や公営住宅などができ、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町ふるさと未来会議

あけましておめでとうございます。  
今年も“大川原LIFE”をよろしくお願ひします。

# 暮らしを楽しむ

さて今回は、大川原ライフをひとときわ満喫している佐藤右吉さんのお宅にお邪魔しました。大川原で生まれ育った右吉さんは80歳。ものづくりが大好きで、40年かけてコツコツ造り上げてきた庭は、震災後に植え始めた**ぎる菊**で知る人ぞ知る大川原の名所になっています。昨秋には「200人は見学に来たぞ」と右吉さん。知らない人でも「自由に見ていいよ」と気さくな笑顔で迎え入れます。

菊が終わった初冬、サービス精神旺盛な右吉さんは、新年に向け「れいわ2ねん」と畑に土で描きました。「おっかあには『またばかなこと』って笑われたけど、いいべ？」大川原での毎日は、「満足だよ。好きなことやって暮らして、こんな満足なことない」と笑います。

## 大切なパートナー

右吉さんの庭で過ごす愛犬「ふく」です。もともと犬が好きな右吉さんご夫妻が3年ほど前に知人から譲り受けた黒柴犬で、「ダメと教えたことは2度としない」という賢いワンちゃんです。人懐こく、取材時もおとなしくなでさせてくれました。ふくが



麻呂眉のような模様がキネート♡

いることで、庭や畑にはイソツツが近付かないのだそう。朝晩の日課となっているふくとの散歩が楽しいと話す右吉さん。ふくは、右吉さんの大川原ライフに欠かせない大切な存在となっています。

見どころ満載の右吉ワールドを裏面でご紹介します!!

「新聞受取機」は自信作と話す右吉さん



顔のある植木。遊び心いっぱい☆



# 右吉ワールドへようこそ

見やいぶりに山砂で  
自くがにたててみました。  
少し前までは「ざる菊で」  
「カエリマシタヨ」と呼ばれていたよ。

れいわ2ねん

各所にふる東屋で一服。  
テーブルやイスも流木を  
切りだした手製です。

右吉にお気に入りの流木  
にも手製の本家具が  
ざいり。

「庭師でもオレのヌはできな  
と自慢のせてい。

かわいさ。

七バの  
ひーちゃん。  
玄関口を完ていす。

昔の母屋は推定  
築100年以上。

ダムで合った流木は  
よんでオグジエ。  
ウッドデッキもつくはよ。

新聞販達の手間を少なくす  
ために 考案した新聞受取機。



いおしは  
重労働よけ。

ちおとした火田。  
今はハクサイなど。

6年ほど前に20株から  
始まってざる菊栽培は  
いまや600株に!!  
見頃は秋です。

※季節感  
無視していいす。  
ここにある他に  
おもいろもの  
いっぱい!!